

遊び方 ルーピング

ルーピングはお子様からお年寄りまで、あらゆる人のさまざまな能力の発育を促進するためにデザインされた木製の遊び道具です。色、形、数の概念や、想像力、社会性、運動能力の発達に役立ちます。これらの能力については下記で詳しく説明しております。ルーピングでの遊びで大切な点は決まったルールや間違い・正解がないということです。遊ぶ人の想像が遊びを広げるのです。

言語能力： 遊びながらどのようにビーズが動いているかお話してみましょう。「丸いビーズが上に乗って、下に落ちて、左に曲がります」

数の学習： ビーズを3つや5つのグループにしてみてください。それぞれのグループの中に青いビーズはいくつ含まれていますか。何種類の形のビーズがありますか。何色のビーズがありますか。

手と目の協調： 右手だけでビーズをできるだけ遠くまで動かしてみよう。左手だけでもやってみましょう。目を閉じて同じことはできますか。

観察力： ルーピングをいろいろな角度から見てみましょう。見る方向によって全く違うものに見えるはずです。ビーズを動かさずにワイヤーを目で追ってみましょう。

問題解決： ひとつだけビーズを手にして考えてみてください。「今ビーズはどこにありますか」「このビーズは何色ですか」「片手だけでビーズを反対側まで動かすにはどうしたらいいでしょう。両手の場合はどうでしょう」ビーズを動かしたりワイヤーを観察しながら、答えを見つけてみましょう。

社会性： 複数の人が1つのルーピングで一緒に遊ぶことで社会性を養います。

想像力： 遊びながら、お話を作りましょう。ビーズを汽車や車のつもりで動かします。汽車や車の音まで真似して遊んでみましょう。

ルーピングで遊びながらさまざまなことを学ぶことができます。ルーピングを使って、創造的で楽しいゲームをすることもできます。

準備するもの： さいころ（商品には含まれません）、ルーピング
人数： 2人または4人

1本のワイヤーに通っているビーズは両はじに2つに分けて、それぞれ同じ数になるようにします。4人で遊ぶ時は2本のワイヤーを使いましょう。さいころを1人ずつ振って、でた目の数だけワイヤーの反対側にいる相手のビーズを自分の側に動かします。さいころの目が1の場合は相手のビーズを1つ自分の方に移します。ビーズを動かす際、ビーズから片手で指をはなさないように移動させます。ビーズから指が離れてしまったら、相手にそのビーズを返さなくてはなりません。自分の側に最初に全部のビーズを集められた人が勝ちです。ビーズを右や左に移動させながら"足し算"の概念を学ぶことができます。また、指先の器用さや運動能力の促進にも役立ちます。ビーズを動かす動作は、文字を書くときの動作にも似ています。

重要： ルーピングには大変高品質のフナ材を使用しており、ニスでコーティングされているワイヤーも有害な素材は一切使用しておりません。

保証：

ルーピングに使用されている素材は全て安全なものを使用しており、細心の注意を払い生産をしておりますが、万一製品に欠陥が見つかりましたら、お買い求め頂いた販売店までお申し付け下さい。下記の保証に基づき対応をさせていただきます。

通常の遊び方で、ご購入後6ヶ月以内に製品に欠陥が生じた場合（素材上、または製造上の欠陥）無償で修理、またはお取替えをさせていただきます。修理やお取替えが指定の販売店以外で行われた場合、この保証は無効になります。

通常の遊び方以外の使用方法で生じた破損については責任を負いかねますのであらかじめご了承下さい。

お問い合わせ：

JOYTOYの製品は全てヨーロッパの品質・安全基準に準じています。ご不明な点がありましたら、販売店、または当社までお問い合わせ下さい。